



認知症に やさしい 異業種連携 共同宣言



認知症にやさしい異業種連携協議会、認知症にやさしい異業種連携共同宣言については、こちらからご覧になれます。

認知症にやさしいビジネスアイデアワークショップについて

認知症にやさしい異業種連携協議会事務局
(京都府健康福祉部高齢者支援課) 中村 早苗

京都では、早くから、医療・介護・福祉などの関係者がオール京都で連携し、認知症の当事者（本人・家族）の声を聴きながら、認知症施策を検討し、取組を実施

※認知症の人と家族の会は京都で発足

※医療・介護・福祉の関係団体が連携して京都独自の認知症施策推進計画「京都式オレンジプラン」を策定



しかし、「認知症の本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現」には、高齢者や認知症の方の日々の生活を支える企業の皆様とも連携することが必要ではないか？



高齢者・認知症の方の普段の生活を支える様々な業種の皆様に、集まっていたき、認知症にやさしいサービスについて考える会を立ち上げてみてはどうか。



平成30年度に2回のプレ協議会開催を経て、令和元年6月「認知症にやさしい異業種連携協議会」スタート

設置主旨

高齢化が急速に進行する中で、認知症になっても個人の尊厳が尊重され、安心して暮らし続けられる社会を実現するため、高齢者、認知症の人に身近なモノやサービスを提供する企業が異業種連携により“認知症にやさしい”モノやサービスを検討し、実践することを目的とする。

協議会の活動

- (1) 認知症にやさしい異業種連携共同宣言の普及及び実践の促進
- (2) 認知症に関する学びや認知症当事者(本人及び家族)の声を聴く会の開催
- (3) 異業種交流及びマッチング支援
- (4) 認知症にやさしいモノやサービスの検討と実践
- (5) 活動報告会やシンポジウム等の開催
- (6) その他協議会の目的の達成に資する取組

参画企業(令和3年6月25日現在) 61企業

業種	企業名
建設業	■ インテリアオフィス匠 ■ 有限会社キムラ建宅 ■ 株式会社クレマ ■ 株式会社宮野商事
製造業	■ 株式会社青木プラス ■ 株式会社アロマジョイン ■ エーザイ株式会社 ■ 株式会社エージェンシーアシスト ■ 株式会社桜井金物 ■ サンケイデザイン株式会社 ■ 凸版印刷株式会社 ■ 株式会社もり ■ 株式会社ヤマコー
情報通信	■ アイテックス株式会社 ■ 京セラコミュニケーションシステム株式会社 ■ 株式会社スリーエース ■ 株式会社UB-BIZZ ■ 一般社団法人セーフティネットリンケージ ■ ソフトバンク株式会社 ■ 株式会社COCO・WA・DOCO
運輸業	■ 株式会社キャビック ■ 都タクシー株式会社
卸売業・小売業	■ アルフレッサ株式会社 ■ 株式会社大垣書店 ■ 京都生活協同組合 ■ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン ■ 株式会社ハートフレンド(スーパーフレスコ) ■ ゆう薬局グループ株式会社ゆうホールディングス
金融業、保険業	■ 株式会社京都銀行 ■ 三井住友信託銀行株式会社 ■ 京都信用金庫 ■ 京都中央信用金庫 ■ 住友生命保険相互会社 ■ SOMPOひまわり生命保険株式会社 ■ 第一生命保険株式会社 ■ 損害保険ジャパン株式会社 ■ 東京海上日動火災保険株式会社
不動産業	■ 株式会社エフサポート ■ 株式会社エルハウジング ■ 株式会社フラットエージェンシー
学術研究、専門・技術サービス業	■ 京都カウンセリングラウンジ ■ NPO法人日本医療経営機構 ■ NPO法人フラワーサイコロジー協会 ■ 株式会社関広 ■ 一般社団法人みやこシニアサポート ■ 司法書士法人おおさか法務事務所 ■ 一般社団法人相続相談センター ■ 司法書士法人山西福村事務所 ■ 林計理事務所 ■ 司法書士法人みかた ■ NPO法人ユニバーサル・ケア ■ 一級建築士事務所スーク創生事務所
生活関連サービス業、娯楽業	■ 有限会社INFINITY NPO法人なでい ■ シアーハピネス
医療・福祉サービス業	■ ソーケンメディカル株式会社 ■ SOMPOホールディングス株式会社 ■ 株式会社HAPPY LIFE
サービス業(他に分類されないもの)	■ 京都エレベーター株式会社 ■ 株式会社漆芸舎 ■ 総合警備保障株式会社 ■ 株式会社プライムアシスタンス

認知症にやさしい異業種連携共同宣言(令和元年度)

〈令和2年3月策定・令和2年9月28日発表〉

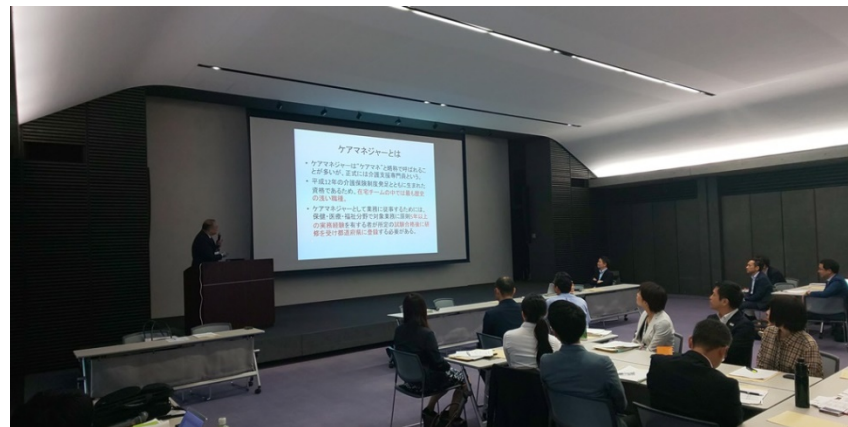
認知症になっても個人の意思が尊重され、安心して暮らし続けられる社会を実現するため、企業として取り組むべき行動についてとりまとめたもの

■ 多様な認知症の方々の声を聴きます

1. 認知症を知ることからはじめます
2. 認知症の方一人ひとりの想いの実現に向けて行動します
3. 医療・介護のよりよい利用を支えます
4. 認知症になっても社会の担い手として活躍することを応援します
5. 認知症になっても楽しめるエンターテインメントを届けます
6. 若年性認知症の方への新たなサービスを創出します
7. 認知症の方を支える人たちを応援します
8. 様々なツールを活用し、役立つ情報を届けます
9. 認知機能の低下に備える社会づくりに貢献します
10. 業種を超えて連携します


認知症にやさしい具体的なサービスの検討(令和元年度)

「3業種以上連携していること」、「認知症当事者(本人・家族)からニーズ調査を行うこと」、「助っ人は2人(団体)まで」…などの条件のもと、協議会に参画する企業の皆さんが、事務局によりランダムに編成した5チームに分かれ、具体的なサービスアイデアを検討。



5つのサービスアイデアが完成

異業種連携による認知症にやさしいサービスアイデア発表会(令和3年1月27日開催)

A	ワンストップチーム (総合警備保障、キャビック、セブン-イレブン・ジャパン、京都銀行、京都信用金庫、東京海上日動、凸版印刷)	<u>みんなと繋がれ！地域共生の実現に向けて</u> イベントによって当事者と地域を繋ぐ「共生事業」と、その結果得られる孤独感の解消によって、社会保障費に与える影響の「効果検証」を同時に実施するアイデア。社会保障費圧縮により当事者の金銭負担も抑える。
B	PIDIF (京セラコミュニケーションシステム、京都府立医科大学、京都福祉サービス協会、ゆうホールディングス、第一生命保険、東京海上日動、セブン-イレブン・ジャパン、京都銀行、京都中央信用金庫)	<u>認知症ほど素敵なものはない</u> 私たちのビジネスアイデアは、「新たな財源の確保」、「自宅で最期を迎える施策(介護費減)」、「認知症であることに胸を張れる社会の実現」等、世の中の全員がウィン・ウィンになるアイデアです。
C	チームC (都タクシー、ベネッセシニアサポート、三井住友信託銀行、京都中央信用金庫、京都生活共同組合)	<u>認知症にそなえる「知っ得」ポイントシステム</u> 利用者の・・・認知症にそなえる／早期発見等の取り組みに応じてポイントを付与して、一定の年齢に達した後に貯めたポイントを使ったサービスを受けることができる仕組み。
D	チームD (京都信用金庫、東京海上日動、第一フロンティア生命保険、エルハウジング)	<u>認知症にやさしいマッチング掲示板</u> 協議会参加メンバー相互間で、認知症の方々から受ける種々の問い合わせを掲載。 参加者全員が内容共有するとともに、返信できる仕組みを作る。
E 	Eサポート京都 (京都信用金庫、ソーケンメディカル、ハートフレンド(スーパーフレスコ、フラットエージェンシー、第一生命保険)	<u>空き家を利用した街づくり『元気が出るハウス』</u> 相続などで住民が流出した後に、空き家になっている物件が、京都市内には多数ある。その空き家を有効利用する事によって、若者(学生)と高齢者(認知症の方)などが共存するコミュニティを創造する。 ※若者と高齢者など・・・子育て世代、外国の方、障害をもった方などを包含する。

認知症にやさしい異業種連携協議会の参画企業から検討テーマを提案していただき、テーマに関心のある企業、認知症当事者(本人・家族)、医療・介護関係者などを募り、チームを結成し、ビジネスアイデアを検討するワークショップを実施

◆企業からテーマを募集

◆認知症にやさしい異業種連携共同宣言
「多様な認知症の方々の声を聴きます」の実践

◆企業と医療・介護の連携

テーマ①認知症にやさしいマッチング掲示板（提案企業：京都信用金庫）

認知症にやさしい異業種連携協議会の企業相互間(BtoB)、および認知症の方やご家族をお客様とする企業・団体(BtoC)を参加者とし、認知症当事者から受ける広範な問い合わせに関して、参加者が情報共有するとともに、任意(いつでもどこでも)に返信できるWeb上の掲示板(認知症にやさしいマッチング掲示板)について検討

テーマ②認知症の方の就労支援（提案企業：総合警備保障株式会社）

認知症の方に働く場を提供することは、社会参加による地域社会との共生の実現に加え、当事者の経済的支援にもつながると感じています。しかし、民間企業が当事者を直接雇用することは容易ではないため、企業と認知症の方のマッチングにより就労の仲介・支援をする仕組みについて、本協議会の中で検討したい。

テーマ③認知症の方のQOL・セキュリティ向上に資するサービス・機器導入支援（提案企業：住友生命保険相互会社）

認知症の方を含む認知機能が低下した方に、QOL・セキュリティ向上に資するサービス・機器の導入や使用方法習得の支援や、申し込みや解約などの手続き窓口の一本化について検討。一部の作業に関して、支援は協議会参画企業の職員のボランティアについても検討
＜具体的なサービス・機器の例＞

AIスピーカー、ネット映像・音楽配信、ミライスピーカー、損害保険、貸金庫、ホームセキュリティ、特殊詐欺防止システム 等

検討スケジュール

- ◆ワークショップは、3チーム合同で4回実施
- ◆それ以外の期間は各チームでの自主的に検討を実施
- ◆到達目標：テーマに即したビジネスアイデアの完成

会場は京都信用金庫QUESTION(<https://question.kyoto-shinkin.co.jp/>)

日程	実施内容(予定)
◆第1回ワークショップ 6/30(水)13:30-16:00	○趣旨説明、所信表明 ○グループワーク(自己紹介、現状と課題・ニーズの共有、チームの検討スケジュール)
◆第2回ワークショップ 9/15(水)13:30-16:00	○進捗状況報告(検討状況、チームの検討スケジュールなど) ○グループワーク
◆ 中間報告 10/29(金)締め切り	○中間報告書提出 (課題・ニーズ、各メンバーの役割、検討スケジュール、検討内容等)
◆第3回ワークショップ 12/17(金)13:30-16:00	○進捗状況報告(検討状況) ○グループワーク
◆ 最終案報告 3/4(金)締め切り	○令和3年度最終案報告書提出
◆第4回ワークショップ 3/24(木)13:30-16:00	○一般参加者を募集して、報告会を開催